

石元泰博 写真展

桂離宮 1953, 1954 — Katsura Imperial Villa

日本写真史に名を刻む偉大な写真家、石元泰博(1921-2012)は、サンフランシスコに生まれ、幼少時に父の故郷である高知県に帰郷しますが、1939年に再び渡米し、バウハウスの教育理念を継承したシカゴ・インスティテュート・オブ・デザイン(通称、ニュー・バウハウス)で写真の教育を受けました。1953年頃からは日米を行き来し、戦後日本の写真界に多大な影響を与え、1969年以降は日本を拠点に精力的な活動を展開しました。

本展では、展示空間となる鎌倉館が坂倉準三(1901-1969)によって建てられたのが1951年であることと共鳴すべく、石元の膨大な作品群の中から1953、1954年に制作された《桂離宮》のシリーズに焦点を絞り展覽いたします。戦後間もない1950年代初頭という時点で、日本のモダニズムが到達していた高いレベルを再確認いただける貴重な機会となるでしょう。

大胆かつ緻密な構図によって捉えられたその作品群は、桂離宮の見方を決定づけたとも言われています。ニュー・バウハウスで鍛えられた、モダニズムの真髄ともいえる精神は、半世紀を超えて今なお卓越した視点として煌きを放っています。桂離宮という伝統的な日本建築の美しさと写真というメディアの融合、そして石元の根源的で堅牢な造形感覚を余すところなくご堪能いただける展覧会です。

*会期中に展示替えがあります。

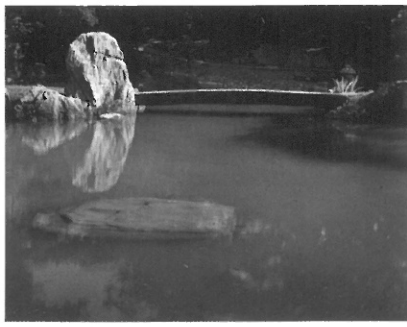
前期：4月7日[土]—5月13日[日] 後期：5月15日[火]—6月10日[日]



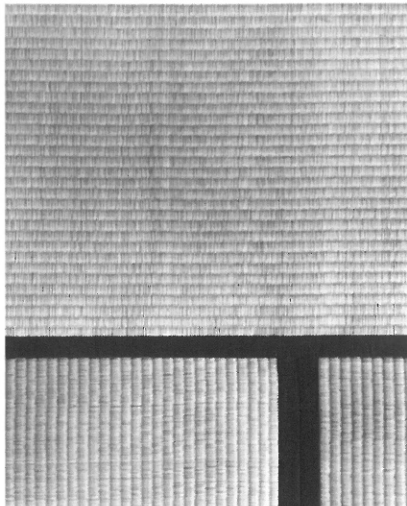
《桂離宮 化粧屋根裏(月波楼)》1953-54年 ゼラチンシルバークラウド 高知県立美術館蔵



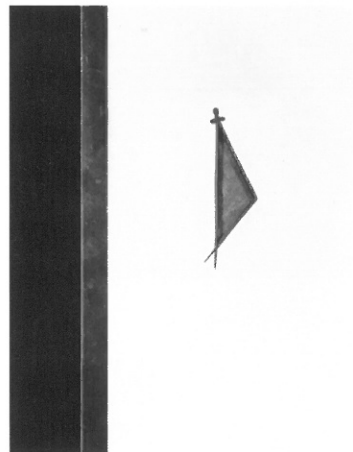
《桂離宮 中門の石組》1953-54年 ゼラチンシルバークラウド 高知県立美術館蔵



《桂離宮 天の橋立の石橋》1953-54年 ゼラチンシルバークラウド 高知県立美術館蔵



《桂離宮 畳》1953-54年 ゼラチンシルバークラウド 高知県立美術館蔵



《桂離宮 松葉型懐引手(楽器の間)》1953-54年 ゼラチンシルバークラウド 高知県立美術館蔵



《桂離宮》1953-54年 ゼラチンシルバークラウド 高知県立美術館蔵

〔関連企画〕

ゲスト・トーク「石元泰博—写真という思考」

講師：森山明子氏(武蔵野美術大学教授)

日時：4月21日[土] 午後2時—3時30分

会場：神奈川県立近代美術館 鎌倉 展示室

*申込不要、無料(ただし「石元泰博写真展」の観覧券が必要です)

学芸員によるギャラリートーク

日時：5月12日[土]、5月26日[土] 各回午後2時—3時

*申込不要、無料(ただし「石元泰博写真展」の観覧券が必要です)

〔同時開催〕

神奈川県立近代美術館 鎌倉別館 tel.0467-22-7718

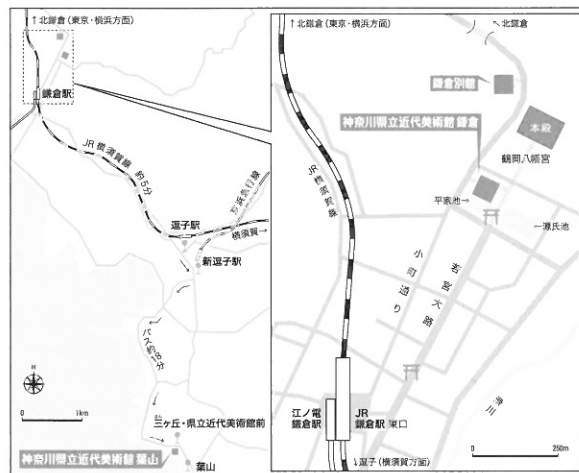
「柚木沙弥弥展 村山重土作『夜の絵』とともに」

4月7日[土]—6月10日[日]

神奈川県立近代美術館 葉山 tel.046-875-2800

「光と影の生命 須田国太郎展 没後50年に顧みる」

4月7日[土]—5月27日[日]



〔優待料金のご案内〕

「石元泰博写真展」有料観覧券(65歳以上券、高校生券を除く)の半券ご提示で、同展覧会中に限り、葉山館で開催中の展覧会を優待料金でご観覧いただけます。

〔鎌倉館への交通案内〕

- 公共交通機関利用の場合：JR横須賀線・江ノ島電鉄線「鎌倉」駅下車、徒歩約10分
- 横浜横須賀道路利用の場合：朝比奈インターチェンジから鎌倉霊園を経由して鶴岡八幡宮前へ約4km

*神奈川県立近代美術館の最新情報は、ホームページでもご覧いただけます。

神奈川県立近代美術館 鎌倉

The Museum of Modern Art, Kamakura
〒248-0005 神奈川県鎌倉市雪ノ下2-1-53
tel.0467-22-5000 / fax.0467-23-2464
2-1-53 Yukinoshita, Kamakura, Kanagawa 248-0005
http://www.moma.pref.kanagawa.jp

*出品作品は変更される場合があります。